

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態	
関係法規・制度		美容学科／2年	2025／通年	講義	
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員	
90分	15回	2単位（30時間）	必須	角 知美	
授 業 の 概 要					
日本の法制度の簡単な仕組みを理解するとともに行政施策と国民への役割を法との関係で考える。 美容師としての法的位置づけと遵守すべき法令を理解する。					
授業終了時の到達目標					
美容師として営業活動を行うについて派生する権利義務を法から見た考え方を理解する。 美容師法中心とした法体系を理解し試験科目としての知識を得る。					
実務経験有無		実務経験内容			
時間外に必要な学修					
回	テ ー マ		内 容		
1	法制度の概要		社会生活における法の役割		
2	法制度の概要		日本国憲法下の法整備		
3	法制度の概要		衛生法規の概要		
4	衛生行政の概要		法と行政		
5	美容師法		美容師法の目的と歴史		
6～7	美容師法		美容師法の体系		
8	美容師法		美容師法の用語定義		
9	美容師法		美容師試験		
10	美容師法		美容所		
11	美容師法		管理美容師		
12	美容師法		行政の立ち入り検査		
13	美容師法		行政処分		
14	美容師法		罰則		
15	関連法規		衛生関係及び営業の適正化に関する法令 その他関連法令		
教科書・教材			評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度			期末試験	100.0%	

作成者:大杉 和人

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
衛生管理Ⅱ		美容学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	大杉 和人
授 業 の 概 要				
美容師の業務を行う上で必要な衛生知識について学習する 公衆衛生について学び、感染症の知識や予防を理解する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～2	主な感染症	空気・飛沫を介して感染する感染症		
3	主な感染症	飲食物を介して感染する感染症、血液等を介して感染する感染症		
4		動物・節足動物を介して感染する感染症、具体的な対策の例		
5	感染症まとめ			
6		消毒とは、消毒の意義		
7		理容・美容の業務と消毒との関係、消毒法と適用上の注意		
8		理学的消毒法（殺菌法）		
9～10		各種消毒法		
11～12		理容所・美容所の消毒の実際		
13		理容所及び美容所における衛生管理要領		
14	衛生管理技術まとめ			
15～30	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 衛生管理		期末試験	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
保健Ⅱ		美容学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	福原 里奈
授 業 の 概 要				
・美容師と健康、公衆衛生との関係を理解する・美容師に必要な人体の構造と機能を理解する ・人体の構造及び機能を全体的に学習し、包括的に理解する ・皮膚と皮膚付属器官の構造や生理機能を理解する ・国家試験の課題に取り組み、美容師に求められる知識を習得する				
授業終了時の到達目標				
・保健を学ぶ意味がわかる ・人体の構造と機能が、系統的に理解できる ・美容師国家試験合格レベルの知識習得 ・美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	1年次の復習			
2	皮膚の循環器系と神経系	皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経		
3	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	体外保護作用、体温調整作用、知覚作用と皮膚反射、分泌排泄作用		
4	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	呼吸作用、吸収作用、貯蔵作用、免疫・解毒・排除作用、再生作用、毛のはたらき、爪のはたらき		
5	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態、皮膚と精神、皮膚と栄養、皮膚と嗜好品、皮膚と体内病変、皮膚・付属器官とホルモン		
6	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚の保護と手入れ、毛の保護と手入れ、爪の保護と手入れ、子どものおしゃれによる皮膚トラブル		
7	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常と病態、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、薬疹		
8	皮膚と皮膚付属器官の疾患	口唇の疾患、温熱・寒冷による皮膚障害、角化異常による皮膚疾患、色素異常による皮膚疾患、血管腫（アカアザ）		
9	皮膚と皮膚付属器官の疾患	脂腺母斑、下肢静脈瘤、分泌異常による皮膚疾患		
10	皮膚と皮膚付属器官の疾患	化膿菌による皮膚疾患、ウイルスによる皮膚疾患、真菌による皮膚疾患、衛生害虫による皮膚疾患		
11	皮膚と皮膚付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防、毛と爪の疾患、皮膚の腫瘍		
12～30	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
理容美容教育センター 保健		期末試験	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
香粧品化学Ⅱ		美容学科／2年	2025／通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	23回	3単位（46時間）	必須	石丸 憲治
授 業 の 概 要				
美容師の業務を行う上で必要な香粧品学の基礎知識について学習する 香粧品化学が美容技術において基盤となることを理解する 過去問題を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容師国家試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	1年次の復習、香粧品の成り立ち		水と親水性溶媒	
2	香粧品の成り立ち		油性原料	
3～4	香粧品の成り立ち		界面活性剤	
5	香粧品の成り立ち		高分子化合物、色材	
6	香粧品の成り立ち		香料、製品を安定させる配合原料、その他の機能性配合原料、雑貨原料	
7	スキンケア製品		香粧品の効果と使用プロセス、クレンジング用香粧品	
8	スキンケア製品		コンディショニング用香粧品、トリートメント用香粧品	
9	メイクアップ製品		メイクアップ製品の種類と剤形、ベースメイクアップ香粧品	
10	メイクアップ製品		ポイントメイクアップ香粧品、アイメイクアップ製品	
11	メイクアップ製品		まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品	
12	ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品		ヘアクレンジング用香粧品	
13	ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品		ヘアコンディショニング用香粧品	
14	ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品		ヘアスタイリング料	
15～17	ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品		パーマ剤	
18～20	ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスキャルプケア製品		ヘアカラー製品	
21～23	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準		評価率
理容美容教育センター 香粧品化学		期末試験		100.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
文化論Ⅱ		美容学科／2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	澁谷 寧音
授 業 の 概 要				
日本の理容業・美容業の歴史を学び、美容師の社会的存在意義を知る 日本、世界の髪、化粧、服装、ファッション文化の流れを知り、文化の一翼を担う美容の在り方を考える 過去問題を利用し、美容師国家試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
美容師国家に対応できる知識を身につける 美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1	ファッション文化史 西洋編		古代エジプト、古代ギリシア・ローマ、古代ゲルマン	
2	ファッション文化史 西洋編		中世ヨーロッパ	
3	ファッション文化史 西洋編		近世（16世紀）、近世（17世紀）	
4	ファッション文化史 西洋編		近世（18世紀）	
5	ファッション文化史 西洋編		近代（18世紀末～19世紀初め）、近代（19世紀）	
6	ファッション文化史 西洋編		現代（1910年代～1920年代）	
7	ファッション文化史 西洋編		現代（1930年代～1940年代前半）	
8	ファッション文化史 西洋編		現代（1940年代後半～1950年代）	
9	ファッション文化史 西洋編		現代（1960年代）	
10	ファッション文化史 西洋編		現代（1970年代）	
11	ファッション文化史 西洋編		現代（1980年代）	
12	ファッション文化史 西洋編		現代（1990年代～2010年代）	
13	礼装の種類		和装の礼装	
14	礼装の種類		洋装の礼装	
15	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準		評価率
		期末試験		100.0%
				その他

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
美容技術理論Ⅱ		美容学科／2年	2025/通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位（60時間）	必須	相原 有以
授 業 の 概 要				
・美容師として必要な基礎知識を身につける ・美容技術を裏付ける基本的理論を習得する ・美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する				
授業終了時の到達目標				
・美容師国家試験に合格できる知識習得				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	メイクアップ	メイクアップ概論、皮膚の生理と構造		
2	メイクアップ	フェイスプロポーション、色彩について		
3	メイクアップ	パーソナルカラー、用具の種類と消毒方法		
4	メイクアップ	メイクアップ、ブライダルメイクアップ		
5	メイクアップ	肌質別修整メイクアップ一覧表、まつ毛エクステンション		
6	日本髪	日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴		
7	日本髪	日本髪と調和、日本髪の装飾品・結髪道具		
8	日本髪	日本髪の結髪技術、日本髪の手入れ、かつら		
9	着付けの理論と技術	着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ		
10	着付けの理論と技術	帯、小物、着物各部の名称、着物のたたみ方、着付けの一般的要領		
11	着付けの理論と技術	留袖・振袖着付け技術、帯締め、帯揚げの結び方、男子礼装羽織、袴着付け技術		
12	着付けの理論と技術	羽織のひもの結び方、女子袴着付け技術		
13	着付けの理論と技術	婚礼着付けの際の注意事項、和装花嫁、洋装花嫁		
14～30	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論1、2		期末試験	100.0%	

作成者:大杉 和人

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
運営管理		美容学科／2年	2025/通年	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	大杉 和人
授 業 の 概 要				
経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ 人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ 顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現するかについて学ぶ				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験に対応できる知識を身につける 美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	理美容業の経営環境	理美容業の経営環境		
2	資金管理	資金管理		
3	年金保険、医療・介護保険	年金保険、医療・介護保険		
4	医療・介護保険	医療・介護保険		
5～6	労働関係法規	労働関係法規		
7～15	国家試験対策			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理		期末試験	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
美容実習Ⅱ		美容学科／2年	2025/通年	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	247回	16単位（494時間）	必須	大杉 和人
授 業 の 概 要				
ワインディングオールパーパスの技術を基に、国家試験課題のワインディング技術（デザイン巻き）を学び、 国家試験に合格する実力を身につける オールウェーブのタイムを縮めるとともに完成度を上げる 国家試験課題のカットングをブロッキングから仕上げまで習得する				
授業終了時の到達目標				
国家試験合格 校内、校外コンテストに入賞できる実力をつける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】大杉 和人：美容師として3年の実務経験 美容師として経験した知識や技術を伝える		
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ		内 容	
1～5	ワインディング デザイン巻き		ブロッキング	
6～10	ワインディング デザイン巻き		オンベース	
11～15	ワインディング デザイン巻き		1/2オフベース	
16～50	ワインディング デザイン巻き		全頭20分	
51～54	カット		シザーズの使い方 手入れ方法	
55～60	カット		ブロッキング	
61～65	カット		ガイドのカット	
66～70	カット		ワンレングスカット	
71～75	カット		グラデーションカット	
76～80	カット		レイヤーカット	
81～114	カット		国家試験課題を20分で仕上げる	
115～124	ウェーブ ピンカール		スカルプチェアカール	
125～130	ウェーブ ピンカール		リフトカール	

回	テ ー マ	内 容		
131 ～ 135	ウェーブ ピンカール	メイポールカール		
136 ～ 150	ウェーブ ピンカール	クロッキノールカール		
151 ～ 170	オールウェーブ	国家試験課題25分で仕上げる		
171 ～ 200	国家試験課題	第一課題 第二課題		
201 ～ 247	衛生上の注意事項	準備時間中の注意事項 作業時間中の注意事項		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
公益財団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 美容実習		期末試験（技術課題）	100.0%	

作成者:大杉 和人

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
サロンワーク		美容学科／2年	2025／通年	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	74回	4単位（148時間）	必須	大杉 和人
授 業 の 概 要				
・美容師の業務を行う上で必要な基礎知識や技術について学習する				
授業終了時の到達目標				
・美容の業務に必要な基礎知識の習得 ・美容師国家試験合格				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～ 50	国家試験対策	国家試験対策問題		
51～ 65	国家試験対策	模擬問題		
66～ 74	国家試験対策	過去問題		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ネイル		美容学科／2年	2025／通年	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位（46時間）	選択	尾形 香代
授 業 の 概 要				
ジェルネイル技能検定試験初級に必要なジェルネイルの技能及び知識				
授業終了時の到達目標				
ジェルネイル技能検定試験初級の取得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	ジェルネイルとは（理論）	教材説明 ジェルの成分、硬化の仕組みなど		
2	ジェルの塗り方と注意点 デモンストレーション	ジェル塗布前のケア（ドライケア）の仕方 ジェル塗布の仕方 ジェルオフの仕方		
3	ジェル実習	自分の手でのケア・ジェル塗布・ジェルオフまで		
4	ジェルを使ったアート	ピーコックのデモンストレーション・実習		
5～ 8	ジェル・ピーコックの実習	ハンドを使っでのジェル・ピーコック実習 タイムトライアル		
9～ 13	ジェル・ピーコック・カラーポリッシュの実習	ハンドでのジェル塗布、ジェルアート、カラーポリッシュ（タイムトライアル） ジェルネイル技能検定試験要項の説明		
14～ 15	ジェルネイル筆記試験	ジェルネイル筆記模擬テスト・筆記テスト		
16	ジェルネイル技能検定試験模擬テスト	ハンドでのネイリスト技能検定試験模擬テスト（確認テスト）		
17～ 20	フット理論	フットについて		
21～ 23	フットケア（角質取り含む）	相モデルでフットケア（角質取り）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		確認テスト 実習・実技評価 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
エステ		美容学科／2年	2025／通年	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位（46時間）	選択	岡田 幸世
授 業 の 概 要				
応用フェイシャル、ボディの技術を通し、お客様への心配り、技術者の体を守ろうためのケアを学び、「内面からの美」を提供できる人材を育成する。				
授業終了時の到達目標				
・お客様への心配りを第一に考えた接客ができるようになる。 ・自分自身のケアを積極的に行い、日ごろからメンテナンスする意識をもつ。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
・自身の肌、ボディの観察 ・授業で学んだケア方法の実践				
回	テ ー マ		内 容	
1	授業概要説明 コンサルティングとカウンセリング		・授業概要説明 ・お客様の肌や体の状態を知るコンサルティングの方法 ・ケアのプランニング	
2～3	コンサルティングとカウンセリングの実践		相モデル実習 （事前カウンセリング→クレンジング→コンサルティング）	
4～5	フェイシャル技術（マスク）		マスク（アルゲタイプ）を行う上での注意点 お客様への声かけ	
6～7	下肢トリートメント（むくみ）		むくみに対するアプローチ オイルの種類、ホームケアアドバイス	
8～9	下肢トリートメント（痩身）		脂肪に対するアプローチ オイルの種類、ホームケアアドバイス	
10～11	フェイシャル技術（パター）		相モデル実習 （クレンジング、ウォッシュ、パター）	
12～13	フェイシャル技術（小顔）		相モデル実習 （クレンジング、ウォッシュ、マッサージ）	
14～15	ハンドトリートメント		オールハンドによるトリートメント 骨格や筋肉の理解（ヘッド、背面）	
16～17	背面トリートメント		リラクセーションに特化した背面トリートメント アロマオイルの知識	
18～19	背面トリートメント		ウエストのひきしめに特化した背面トリートメント	
20	エクササイズ①		柔軟性を高め、疲労を緩和するためのストレッチ	
21	エクササイズ②		シェイプしたい部位に合わせたトレーニング法	

22	ボディ機器	低周波、G 5		
23	セルフケア	クレンジング、洗顔、保湿の方法		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
ブライダル		美容学科／2年	2025/通年	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	23回	1単位（46時間）	選択	齋藤 佳容子
授 業 の 概 要				
メイクの手順や道具の使い方を学ぶ 着付けの基礎知識・技術の習得する				
授業終了時の到達目標				
サロンメイクの提案、似合わせが出来るようになる 着物の知識を習得し、浴衣や留袖の着付けが出来るようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～8	メイク技術とカウンセリング	①カウンセリングによりメイクデッサン画作成 ②メイクデッサン画を元にメイクを施術する ③ブライダルメイクの提案		
9～11	浴衣着付け	①着物の基礎知識・名称・たたみ方 ②着付け手順 ③浴衣に合わせたメイク（技術テスト）		
12～15	着付け	浴衣着付け 帯結び		
16～23	留袖着付け	①長じゅばん着付け ②留袖着付け ③帯結び		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
理容美容教育センター 美容理論2		確認テスト 課題・レポート 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
社会人基礎Ⅱ		美容学科／2年	2025/前期	演習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位（16時間）	必須	大杉 和人
授 業 の 概 要				
就職活動を控え、これから、社会人になるにあたって、必要なスキルを身につける 3KAN教育の後半として、就職活動を通して社会人に必要なスキルを身につける				
授業終了時の到達目標				
1. 3KAN教育（1. 自己効力感 2. 成長実感 3. 学び続ける習慣）により企業が求める人材を育成する 2. 基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3. 目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1	企業訪問/就職試験について/ 企企業が欲しい人材/自己分析	企業が求める人材の理解と自分を理解する ほううれんそう PDCA		
2	模擬面接①	グループに分かれて教室にて模擬面接を実施する		
3	模擬面接②	グループに分かれて教室にて模擬面接を実施する		
4	グループディスカッション・ワーク	NASAゲーム、ノベルティ決めを用いてディスカッションを体験する。 森ゼミ資料のディスカッションを用いて就職研修のディスカッションを行う		
5	就職や社会におけるSNSの活用 ・ SNSを就職活動に役立てる方法と 注意点について理解する ・ SNSが扱う個人情報や社会でどう 関わっているのかを、法律的な観点 から理解する ・ 「著作権」や「肖像権」への意識 を高める。 ・ SNSやWeb上で写真や動画を扱う際 の注意点を理解する	(前半) 1. SNSとはどのようなものか 2. SNSを利用した就職活動の方法例 3. SNSの利用を誤った場合の失敗例 (後半) ・ 著作権とは？ ・ 肖像権とは？ ・ SNSへ画像や動画を投稿する際の注意点		

回	テ ー マ	内 容		
6	新聞を通して、情報の入手の仕方 や、新聞の読み方を学ぶ	①仕事に必要な基礎能力とは ②基礎能力向上に新聞がなぜ役立つか ③新聞と他メディアの違い ④慣れない新聞の読み方 ⑤1日10分で基礎能力のトレーニングになる新聞の使い方		
7	社会に出た際に必要となる知識を学 び理解する（働くことの基礎知識～ 労働・給与・税金～）	給与計算の基礎知識 ・給与に関する法律 ・給与支払いの5原則 ・給与明細の見方 ・残業時間の計算 ・法定労働時間と変形労働時間制 ・残業時間を計算する ・時間外労働の割増率 ・税金について		
8	社会人と学生の違いを理解する	社会人になるということ 学生と社会人の違い		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
授業担当者によるレジュメ		出席率	100.0%	

作成者:大杉 和人

科 目 名		学科／学年	年度／時期	授業形態
インターンシップⅡ		美容学科／2年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位（30時間）	必須	大杉 和人
授 業 の 概 要				
美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを、職場を通して実践する				
授業終了時の到達目標				
職場を知り、仕事を知り、働く人間を知る 自らの将来を展望する 職業人として『働く意味』『やりがい』『規律』『チームワーク』『マナー』の習得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テ ー マ	内 容		
1～15	サロンワーク	接客、清掃等様々なサロン内業務を通して職場を知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	